

様式第2号

令和6年度 門真市立市民公益活動支援センター
指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和5年度

施設のサービス水準の視点コメント

会議室やセミナー室、事務ブースなどの施設管理、NPO・ボランティアなどに関する情報誌（公益times）の発行、助成金や補助金などの有益な情報の収集および提供が行われた。
また、中間支援組織業務としてマッチング交流会を開催し、NPOや市民公益活動団体との交流の促進やセミナーを開催し、公益活動を担う人材の育成に努められたことを評価する。

収支状況 コメント

収入は当初予算額を大きく上回る一方で、支出は予算額とほぼ同額を計上している。
収支（実績ベース）では、収入額が支出額を上回っているため、運営は良好である。
ただし、支出の大部分を占める人件費においては、実績額が予算額を上回っているため、予算内での執行を重視して管理・運営を行っていただきたい。

感染症対策 コメント

利用後の会議室等の消毒を行い、感染拡大防止に取り組まれた。
また、清掃業者による定期的な施設清掃を実施することで、市民が気持ちよく利用できることはもとより、新型コロナウイルス感染対策にもつながった。

市による総合評価 コメント

市民公益活動を担う人材育成を目的としたセミナーの開催や市民公益活動団体との交流の促進に努められたことを評価する。
今年度においても、14件の協働コーディネート（マッチング）ができたことは、市民公益活動にかかる情報の発信を行った結果であり、中間支援組織としての重要な役割を果たされたことは評価できる。
一方で、会議室やセミナー室の利用率が低いこと、市民公益活動団体の拠点施設として、周知方法の工夫し、利用率の向上につなげていただきたい。
当該指定管理者が行ったアンケートによると、「施設の利用のしやすさ」で1件の「やや不満」との意見があるが、「職員の対応・態度」「総合的な満足度」においては、否定的な意見はなく、市民が利用しやすい施設となるよう心掛けができてしていると判断できる。
以上の理由により、概ね協定事項等の水準どおりに施設運営がされていると判断し、総合評価を「B」とした。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
C：協定事項等の水準以下であった